

令和3年3月11日
第50回地域まちづくり推進委員会

地域福祉保健計画と 地域まちづくり支援の連携に係る検討

横浜市都市整備局 地域まちづくり課

1 連携の効果

課題・背景

地福計画

地域での **認知度が高い**

ハード整備に関するニーズはあるが、それを実現するための補助制度がほとんどない

策定・推進主体は、**ハード整備を行うノウハウがない**

連携

地まち制度

地域での **認知度が低い**

ハード整備に対する助成金がある

ハード整備を支援(ノウハウの提供、整備費の補助等)する仕組みがある

効果

地まち制度を活用・改善することで、
地福計画に記載されている取組が充実

地福計画を切り口に、
市民主体の地域まちづくりが広がる

地域課題の解決につながる

2 これまでの経過（R1～）

区係長会議での意見交換

対象：地域支援を担当している係長

区政推進課・地域力推進担当・福祉保健課・高齢障害支援課（地域包括ケア）

区関係課へのヒアリング

主な要望

- ・「地域まちづくり」の分かりづらさ解消
- ・地域まちづくり支援制度の活用プロセスの単純化
- ・使い勝手の良い、小回りの利く制度・事業スキームの検討

事業スキームの検討

スキーム案

- ・地福計画に基づく、簡略化されたプロセスによる、小規模な事業費助成メニュー

3 事業スキーム比較

5年程度（プラン策定（2～3年）+事業計画作成～整備（1～2年））

従来の
地域まちづくり
支援制度

グループ登録

活動の周知
及び
情報収集・
意見集約

プラン
案の
作成

プラン認定
に係る合意
形成
（アンケート）

推進委員会に諮問

プランの認定

事業計画案の作成・周知

事業助成金交付審査会

整備

事業助成
上限
500万円

推進委員会に報告

1年程度（事業計画作成～整備）

地福計画と
連携した場合の
事業スキーム

地福計画策定に向けた検討
地域課題・地域における取組の整理

グループ登録

地福計画
に基づく
まちづくり活動
（整備内容）
の整理

事業計画案の作成・周知

事業助成金交付審査会

整備

事業助成
上限
100万円

推進委員会に報告

4 地区へのアプローチ方法

(i) 個別アプローチ

関係者（外部）からの紹介、
個別アプローチ

直接地区へのアプローチ
候補地区・キーパーソンの
リストアップ／絞り込み

① 下和泉・富士見が丘地区

移動販売の継続

(ii) 間接的アプローチ

区・中間支援組織を通じたアプローチ

区・中間支援組織による
地区の選定

② 白幡上町地区

地域防災の取組

③ 六角橋地区

道の愛称づけによる
まちへの愛着形成

今後の進め方

R3年度の取組

- 3地区について、伴走支援を継続します。
- 地福計画に基づくまちづくりの取組に対し、新たな助成制度を試行します。(1地区)

試行で確認すること

- 地域が“今取り組みたいこと”に柔軟に対応できる制度とすること。
- ハード整備を通じて、まちづくりが展開していくこと。
- 局単独ではなく、区やケアプラザ、社会福祉協議会との連携を密に取り組むこと。